太宰治と甲府 関係性を解説

藤村記念館で講演会

甲府市教委は21日、市藤村記念館で第40回藤村学校「講演と朗読　太宰治と甲府空襲」を開いた。

市とゆかりのある作家太宰治（1909～48年）と甲府の関係を知ってもらおうと企画。甲府・県立文学館の学芸課長保坂雅子さん(56)が講演した。

保坂さんは「太宰は甲府で結婚や甲府空襲を生き延びるなど特別な経験をした。東京で荒れた生活を送っていた太宰にとって生まれ変わるための場所だったと思う」と話した。

講演後、山梨英和中放送部の3年生3人が、甲府空襲までの甲府生活を書いた太宰の小説「薄明（はくめい）」の一部を朗読＝写真。参加した22人が耳を傾けた。